

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	国分寺市プレイステーション	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	特定非営利活動法人冒険遊び場の会	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設の設置目的	青少年の健全育成を図る。		
事業概要	青少年が生き生きと安全に遊べる冒険遊び場として、国分寺市プレイステーションを運営する。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	30,783,649	34,270,133	41,274,478	106,328,260
収入内訳	指定管理料	30,108,105	34,170,000	104,076,893
	参加費	80,500	88,600	242,100
	その他	595,044	11,533	2,009,267
支出	30,783,649	34,270,133	40,832,572	105,886,354
収支差額	0	0	441,906	441,906

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づく執行状況は、適正であった。人件費は、常勤職員1名の退職があり、時間給プレイリーダーを常勤として起用し体制を整えていた。その退職常勤分の執行は下回ったことを確認した。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	業務日誌、シフト表等の確認の結果、計画どおりに協定書に基づき、施設の特性と利用者の年齢に配慮して、業務が適切に実施されていた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	今年度より、施設の開園時間が延長され、平日20時までの中高生世代の受入れ及び平日18時までの小学生以下の受入れとなったが、シフト編成を工夫しながら、開園予定日数及び時間を守って運営していた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	今年度より、冒険遊び場における新たな子どもの仕事体験・居場所づくり推進についての事業が指定管理業務に組み込まれたが、各取組ごとに必要な職員を適正に配置させ、その職員体制は、シフト表で明確に示されていた。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者を置き、危機管理マニュアルを作成し、毎月ごとに火災・地震・不審者想定避難訓練を行っていた。自治会主催の救命救急研修に参加し、職員間で共有していた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	各種項目ごとに書類がわかりやすくファイリングされており、鍵のかかるキャビネットに格納され、適正に保管されていた。必要な報告は、遅滞なくされていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	物品等が整理整頓され、掃除も行き届いており、清潔感が保たれていた。土日カフェ・夕暮カフェ事業の調理場も清潔に保たれていた。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	機械警備と空調洗浄等の清掃について、仕様書に基づき事業者と委託し確実に実施されていた。法定点検については、施設所有事業者による点検を行っていることを確認した。	3	—

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数	25,096人	25,574人	25,392人	25354人
利用者満足度(%)	96%	97%	97%	97%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	5	利用者アンケートでは、子どもからのアンケートの「楽しかった」の項目が97%、再度利用したいの項目は「また来たい」が98%、大人からは100%が「楽しかった」と回答している。自由記述では、子どもから、毎日やってほしい、楽しい場所、という施設のことが好きであるという感情が伝わってくるものであった。大人からもスタッフへの感謝の言葉などの肯定的な言葉をいただけている。	5	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	5	アンケート、利用者懇談会等により寄せられた利用者の声を受け止め、サービス向上に繋げていた。また、施設内にポストを設置し、利用者が意見を述べやすい環境を整えるとともに、意見の一つ一つに対し、利用者の目線・立場に立った解りやすい回答を示し、掲示していた。ポストの利用者は子どもが主であり、子どもの意見を聞く仕組みが構築されていること、全ての意見に対し温かな回答がなされている等、子どもの心に寄り添う姿勢を高く評価する。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	来園者に対し、明るく声掛けがあり、事業内容に応じた服装となっている。利用者アンケートからスタッフの気遣いがいつもうれしい、という記述をいただけており、利用者に安心を届けている。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	4	近隣より、施設からのごみ及び投石の注意をいただいた。市への報告とともに、境のフェンスでは足りないため、ネットを張り対処した。子どもたちへの啓発に、注意の看板を取付け、対応したこと報告とお詫びを迅速に行っていた。	4	4
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報のある書類は整然とファイリングされ、鍵のかかる場所に適切に保管されており、パソコンのパスワードは3か月ごとに変更し、セキュリティ意識をもって取り扱っていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	5	計画的に業務に必要な研修が実施されていた。欠席者には研修資料のレポート提出を義務付けており、職員の知識やスキルに偏りが出ないような取り組みがなされていた。施設を利用する団体に、放課後デイサービスの利用が多く、今年度はその点を意識し配慮を要する方へのサポート講座を取り入れていた。	5	5
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	5	今年度、職員に必要な研修として、他市特別支援学校の講座を受講し、障害者への対応等に関して学び、実際の利用者へ配慮した対応を心がけていた。特性を持つ児童の対応では、背景を理解し、関係機関とも連携を取りながら、児童がその子らしくいられることを尊重して対応していた。施設内の設備や遊具についても、肢体等に障害のある利用者が安全に遊ぶことのできるよう配慮がなされている点も評価する。	4	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設水の準の性に 評価に 応じた	地域における青少年の健全育成と子育て支援に関する取組について、関係機関等と連携し、多様な事業展開がされている。	5	地域での子育ての推進を目的に、3組の子育てサークルを年間をとおして受け入れ、孤立しがちな子育ての中における仲間づくりのための声掛けなども行い、子育ての支援を行っていた。親子ひろばや土日カフェをとおして、日常の中の関わりの中で虐待防止の観点を持ち、楽しみの環境を持ちながら保護者にリフレッシュできる場として提供していた。駄菓子屋の開設では、子どもたちによる駄菓子の販売だけでなく、日々の子どもたちの声から、親子ひろばへの出張販売を行うことで乳幼児への絵本や紙芝居の読み聞かせが行われ、乳幼児との遊びも日々の中で行われ、母親たちも一緒に小学生との交流を楽しみ、多世代交流が生まれ、地域における青少年の健全育成へと展開されていた。学校に行っていない児童の利用にも、日々の子どもの遊びには職員がしっかりと向きあい、彼らが通える居場所となっていた。	—	—
	プレイリーダーの育成に関する講習会等は効果的に実施されているか	4	第1回目は6月30日に、フィールドワーク「コリントゲーム」を作って子どもの遊びを体験しようというテーマで実施し、大人が思考錯誤して作る楽しみに興じるうちに子どもが夢中になって遊ぶ感覚を掴み共感することを実感して学ぶ機会を提供していた。第2回目は、2月2日に、講座「子どもに必要なのは遊び？勉強？習い事？」を実施し、常勤プレイリーダーを講師とし、ありのままの子どもを受け止める現場での体験を聞き、多方面で子どもと関わる立場や子育て中の方等の参加者が、子どものありのままを受け止めることの大切さと難しさを学ぶ機会を作っていた。好評につき、次回へ持ち越す方向となり、地域に子どもたちの育ちを支える大人を増やす目的を果たしていた。	4	4

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度		前々年度	
関実提案選定時の状況内容に	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無	有	提案有無	有
					実施有無	有	実施有無	有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無	有	提案有無	有
					実施有無	有	実施有無	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
5	市の要求水準を大幅に上回っている	<p>令和6年度においても本施設は、土や水などを使った遊びをはじめ、木工、炭づくり等の火を使った体験、ひみつ基地づくりなど、他では体験できない自然や野外での様々な学びができる遊び場を利用者とともに創意工夫しながら作り上げていた。利用者の満足度も非常に高く、また、全ての利用者に対し、真っすぐに粘り強く向き合うなど、居場所の提供に留まらず、青少年の健全な育成にも大きく寄与していた。</p> <p>子どもが店員として仕事を体験できる「駄菓子屋」、中・高校生世代が自ら居心地のいい場を作っていけるようにしている「夕暮れカフェ」、及び子育て中の親子の交流の場としている「土日カフェ」にも、引き続き取り組んでいる。当該事業の開始後、全体的な利用者が増加するなど、乳幼児親子から中高生世代まで幅広い世代の遊び・くつろぎ・交流の場所として機能していることを捉えることができた。</p> <p>また、施設内にポストを設置し、利用者が意見を述べやすい環境を整えるとともに、意見の一つ一つに対し、利用者の目線・立場に立った解りやすい回答を示し、掲示していた。ポストの利用者は子どもが主であり、子どもの意見を聞く仕組みが構築されていること、全ての意見に対し温かな回答がなされている等、子どもの心に寄り添う姿勢を高く評価したい。</p> <p>肢体等に障害を持つ利用者への配慮も、設備や職員の意識啓発等適切であり、子どもの好奇心を妨げない運営方針を掲げつつも、大きな事故がない点も、高い安全管理能力の現れであるとして高く評価する。</p> <p>今後も引き続き、安全管理には十分留意しながら、効果的な施設の管理・運営に努められることを期待したい。</p>	5	4
主管課長：子ども子育て支援課			氏名：山元 めぐみ	

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	<p>・今年度は、親子ひろばの利用者は9,542人で、前年度より全体で1,025人減少した。その内訳は、子ども487人、大人538人の減少だった。プレイステーション全体の利用者は、イベントを除き、25,392人だった。昨年度と比べ、幼児が622人、大人は878人が減少した。しかし、小学生は735人、中学生は583人の増加があった。利用数としては、親子ひろばの利用者が減少したことに関連する形で、プレイステーションも親子の利用が減少した。乳幼児親子は保育園に、1歳2歳から入ることに加え、2歳児から入ることができる幼稚園が増加したため、平日の親子ひろば利用者の子どもの年齢層は、0歳1歳が中心になっている現状がある。</p> <p>・プレイステーションは、駄菓子屋、土日カフェの効果もあり、土曜日の利用者はとても多く、利用者増加に伴い、安全確保のためにプレイリーダーを加配しての活動を行った。また、その人数に加え、夕暮れカフェでの中学生は、1,817人の利用があった。夕暮れカフェ開設前は中学生の利用がとても少なかったもので、格段に増加し、中学生の居場所として機能し始めている。1年を通じておこなった「駄菓子屋」「夕暮れカフェ」の活動が、小学生、中学生にとっても、いい居場所となり、「土日カフェ」の活動が土日親子のいい居場所になっている。</p> <p>・利用者アンケート(1ヶ月間実施)からは、プレイステーションの満足度は、大人100%、子ども97%、親子ひろばは、93%であった。自由記述欄からは、プレイステーションや親子ひろばの存在価値や良さが多く述べられていた。</p> <p>・アンケート結果からは利用者の満足度が高かったが、学校に行っていない子や、家庭などに様々な事情を抱えた子どもたちが多く遊びに来ていることから、0歳から17歳までの子どもたちが来る遊び場としては、全ての利用者に満足いく形での運営の難しさも抱えているのも事実である。今年度は、学校に行っていない小学生が毎日10時から18時まで利用しており、感情をコントロールすることが難しいことが日々あり、年間通じて、職員間の話し合いを多く持ちながら、担当課、学校とも話し合いを重ね、対応をおこなった。さまざまな事情を抱えた子どもたちが来ることができる居場所としてのプレイステーション、そして、全ての子どもたちにとっても、よりよいプレイステーションのあり方を考えながら活動をおこなった1年だった。多くのスタッフが勤務するプレイステーションとしては、全スタッフが同じ方向を向いて子どもに対応することが必要なため、日々の日誌、朝会、振り返りでスタッフ間で確認するとともに、会議の中で全スタッフで話し合い、研修をおこない、年間通じて、日々、真摯に向き合ってきた1年間だった。</p>	5	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
5	市の要求水準を大幅に上回っている	<p>利用者満足度について、引き続き高い割合を維持している。子どもたちに対する対応をすることと併せて、子どもたちに遊び場を提供するプレイリーダー育成にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>青少年が生き生きと安全に遊べる冒険遊び場を提供していることから、施設には様々な子どもたちが遊びに来る。そのため、トラブルが起こることもあり、すぐに解決しないような状況においても、時間をかけてしっかりと対応をしている姿がうかがえる。これら子どもに対する向き合い方について、高く評価する。</p>	4	4